

- 企画・財政
- 建築保全・管轄
- 教育・文化
- 住宅
- 保健・医療
- 道路・橋梁・トンネル
- 公園・緑地
- 水道・下水道
- 廃棄物処理
- 環境保全・農林水産
- 危機管理・BCP
- 河川・港湾・砂防・治山
- エネルギー
- 交通・物流・小売
- 情報化・IOT
- 計画・設計
- 建設
- 維持管理
- 点検・診断
- 改修・機能向上
- 長寿命化
- 高効率化
- 分散処理
- 簡素化
- 改築
- 除却・解体
- 景観向上
- 多機能化・集約
- 宅配
- バーチャル化

舗装の維持管理計画策定とマネジメント運用

パシフィックコンサルタンツ株式会社
インフラマネジメント部

URL <https://www.pacific.co.jp/>

☎ 03-6777-3858

✉ ZFcontact@ss.pacific.co.jp

舗装維持管理の現状と課題

舗装は、道路の利用者にとって最も身近な道路施設です。しかし、施設量が膨大なため維持や補修工事を行うためのコストは、維持管理費全体の中で大きな割合を占めています。また沿道や利用者からの通報・要望への対応件数も多く、管理負担が大きな施設でもあります。

平成 28 年 10 月に「舗装点検要領」が策定され、路面の状態を把握し健全度を診断するといったプロセスが盛り込まれました。道路管理者としては点検に基づいた対応が求められますが、厳しい財政状況の中、第三者被害を発生させずに、コスト削減を図りつつ、適正な管理手法により効率的・効果的な管理を行うことが必要です。

<想定される懸念事項>

- ❖ 施設の老朽化による**事故の発生が心配**
- ❖ 計画を作成しても**予算がつかない**など、予定どおりに行かないことがある
- ❖ **点検にコストがかかる**

舗装点検要領の適用

舗装点検要領では、道路を A～D に分類し、分類ごとに管理の考え方が示されていますが、分類設定にあたっては、大型車交通量の多少といった劣化要因だけではなく、道路の重要性やニーズの高さなど特性に応じて設定することが有効です。重要度は、くらしや経済など地域を支える路線の役割の観点から設定することも考えられます。

<舗装点検要領における道路の分類>

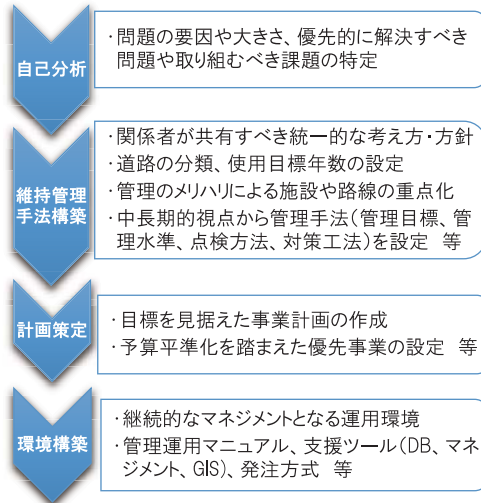
| 大分類 | 小分類 | 分類 |
|-----------------------------|----------|----|
| 損傷の進行が速い道路等(例 大型車交通量が多い) | 高規格幹線道路等 | A |
| 損傷の進行が緩やかな道路等(例 大型車交通量が少ない) | 生活道路等 | D |
| | | B |
| | | C |

<舗装管理の特徴と提案>

- | | |
|-----------|---|
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・舗装点検要領を踏まえた管理方法 ・道路の分類(幹線系から生活系まで多様な機能の道路を保有、地域性を踏まえた分類設定) ・ライフサイクルコストを踏まえた管理への取り組みが必要 (使用目標年数) |
| 提案 | <ul style="list-style-type: none"> ・劣化特性や利用特性に応じた管理方法を設定(点検方法、管理水準、補修計画作成) ・実態に応じて計画を見直す運用 ・実績データを蓄積し活用する環境 |

効率的・効果的な舗装管理に向けて

管理道路の現在の路面状態や管理体制を踏まえて舗装マネジメントを適切に回すことができるよう管理方法を提案します。



<計画策定・マネジメント導入による効果>

- ❖ 確実な対応による**安全性の確保**
- ❖ 管理者として施設対応の**説明性が向上**
- ❖ **戦略的で持続可能な**管理の仕組みを構築
- ❖ 効率的・計画的な点検・管理方法への転換で**コスト削減**